

【提出意見とそれに対する栃木県の考え方】

「安全な川づくり事業（一級河川尾名川 足利市奥戸町）」に対する意見募集を行った結果、2名の方から2件の御意見を頂きました。貴重な御意見ありがとうございました。

提出された御意見を十分検討の上、それに対する県の考え方を次のとおりまとめました。

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
事業期間について	<p>令和元年の「東日本台風」で越水により大きな被害を受けた地域に住む住民にとって、令和7年度から着手される今般の尾名川事業は大変ありがたいものであると思っています。</p> <p>敢えて申し上げれば、素朴な疑問として、目標とする事業期間が令和26年度までの20年間となっていることです。県の財政事情などの問題はあるとは思いますが、20年という年数は長すぎるのではないのでしょうか。創意工夫によって、極力工期の短縮を望みます。20年という根拠も分かりやすくご教示いただけると幸甚です。</p> <p>また、生物の生息・生育・繁殖環境の多様性への配慮はよろしくをお願いします。</p>	<p>河川工事は、洪水の影響を避けて11月～5月の非出水期の施工となることが基本となり事業期間が長くなります。県内における他河川の事業規模と照らし合わせると、尾名川の整備は概ね20年の事業期間を要することとなりますが、現在の橋梁の高さに合わせた暫定的な築堤を先行して行い、事業効果の早期発現に努めます。</p> <p>また、工事にあたっては生物の生息・生育・繁殖環境の多様性に配慮し、多自然川づくりに取り組んでいきます。</p>
事業区間について	<p>J R 橋梁から旗川合流点までが事業区間であるとのことですが、J R 橋梁から主要地方道桐生岩舟線の区間について改修を実施しないのはなぜでしょうか？</p> <p>J R 橋梁から桐生岩舟線の区間が未改修であるとその区間がボトルネックとして残る可能性はないのでしょうか？</p> <p>また、改修しないとなると、今回の事業期間は約20年と長いものとなることから、その間における上流部の対策は何か検討されているのでしょうか？</p>	<p>J R 橋梁から主要地方道桐生岩舟線（岡山橋）までを事業区間に加えると更なる期間を要することから、まずはJ R 橋梁までを着実に整備できるよう区間を設定しています。</p> <p>本事業期間においても、J R 橋梁上流部で部分的な堤防かさ上げや河道掘削、堰の移築等を実施していきます。</p>